

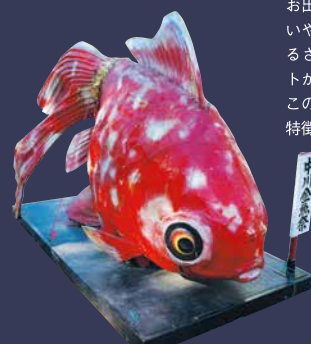


毎年7月 最終土・日曜に開催

70回の歴史を刻む人気の祭り
昭和40年頃から金魚が定着

中川金魚まつり

昭和28(1953)年から70回にわたって続く尾頭橋地区の祭り。弥富市の金魚業者と連携して、ランチュウを大きな水槽に入れて展示したことで金魚のイメージが定着した。尾頭橋公園の特設ステージを中心に区民参加型のさまざまなイベントが2日間にわたって繰り広げられ、周辺には露店が立ち並び大勢の人々にぎわう。



大きな金魚の人形がお出迎え。金魚すくいや、金魚にまつわるさまざまなイベントが楽しめるのも、この祭りならではの特徴。

楽しい祭りが
いっぱい。

区民みんなで
盛り上げがね!

“中川区のお祭り大集合!”

中川区では、区内各所で古くから続く祭り・イベントが盛りだくさん。ここではそれらを一堂に紹介。
世代を超えて受け継がれてきた伝統行事を体感してみては。

毎年10月に開催

毎年10月に開催する
中川区の秋の風物詩

中川区区民まつり

露橋地区、荒子地区、富田地区と3年周期で会場を変えて実施している区民のためのイベント。「ドラゴンズ」や「前田利家」など、毎年地域の特色を生かしたテーマにちなんだイベントを行い、多くの区民が参加する。

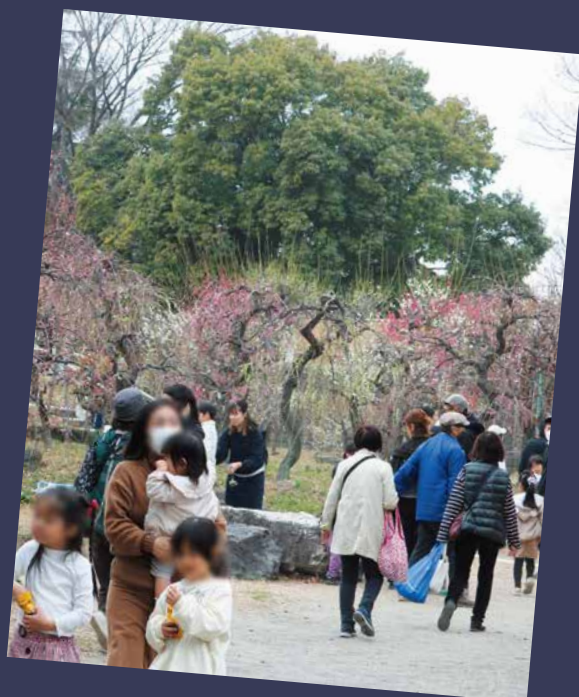


毎年3月に開催

約300本の梅が咲き誇る
荒子に春の訪れを告げる祭り

梅まつり

荒子公園の梅園で毎年春に開催される。約300本もの梅を愛でながら、おいしいグルメなどを楽しめる。毎年数千人の人が押し寄せ、春の訪れを感じることができる人気の祭りだ。





毎年10月 第1土・日曜に開催

勇壮な山車が練り歩く
江戸時代から続く伝統の祭り

戸田まつり

江戸時代の元禄15(1702)年に始まったと言われる、歴史と伝統のある祭り。戸田地区にある5つの割がそれぞれ山車を曳き回して、町内を練り歩き、からくり人形、道踊りなども行う。名古屋市の指定無形民俗文化財。



我々の出番が
やってきたぞー！

町を練り歩く勇壮な山車。
一、三、五之割は毎年曳行するが、5基全てがそろった山車祭は4年に1度しかない貴重な機会だ。



2年に1度9月に開催

大正時代から続く
幻想的な伝統行事

一色まつり

伊勢湾台風の被害に遭うまでは、新川に薪藁舟を出して盛大に行われていた大正時代から続く伝統の祭り。現在は2年に1度のペースで開催。薪藁舟を川ではなく陸で曳き回している。船がライトアップされた夜は幻想的な雰囲気だ。